

# ようじえんだより 2020年度7月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 7月主題『遊びこむ』

主題聖句：今日を喜び祝い、喜び踊ろう。 詩編118編24節

- ☆ 0歳児：保育者の祈りやさんびかに親しむ。食事、睡眠を十分にとり、健康に過ごす。温水遊びや沐浴を通して、水の心地よさを感じ楽しむ。
- ☆ 1～2歳児：保育者と一緒にさんびかを歌う。土や砂、水などにふれて感触を知り楽しむ。保育者の関わりによって自分の思いを知る。
- ☆ 3歳児：保育者や友だちと一緒に祈り、さんびかを歌うことを喜ぶ。好きな遊びを心ゆくまで楽しむ。着替える、休息する、身体を清潔にすることの心地よさを感じる。
- ☆ 4～5歳児：一人ひとりの中にも神さまに祈りたい気持ちが芽生える。好きな遊びを繰り返し楽しみ、工夫したり探究したりする楽しさを味わう。主体的に生活に関わろうとする。

## 成長のキーワード「遊びこむ」

今月の保育主題の「遊びこむ」という言葉は世間一般にはあまり使われない言葉だと思えます。遊びの重要性が認識されてきた昨今の保育業界にあって、ようやく使用されるようになった言葉です。前任地の鹿島幼稚園では保育のキーワードの一つとしてよく使われていましたが、近年十日町幼稚園のミーティングでも「遊びこむ」「遊びきる」は多用される言葉です。

### なるべく時間で区切らないように

子どもにとって遊びは娯楽ではありません。愛情を注がれて特定の人と愛着関係を結びつつ、自分の好奇心ややる気を満たす遊びを通して子どもは成長していきます。特にその遊びは友だちも含めた環境を通してどんどん高度になり広がっていきます。遊びは子どもの成長に必要な不可欠な大切なものです。その遊びを先生をはじめとする大人の都合で、「はい、もう遊びの時間は終わり！」と時間で区切られるこ

とは遊びが深まらず、結果として遊びを通して育つことを阻害する要因になりかねません。今年の2月に研修の講師として来ていただいた岡村宣先生(認定こども園野の花園長:福島県矢吹町)の園はなるべく遊びの時間を区切らず、給食の時間もある程度子どもたちが決めてランチルームで食べるという保育を実践しており、その様子をご紹介いただきました。十日町幼稚園もそれを参考にこの4月よりなるべく時間で区切らない保育をしています。

### 自己決定権があれば子どもの成長は加速する

そんな保育で子どもが成長するのか、不安に思う方もいらっしゃるかもしれません。しかし子どもは自分で満足するまで遊びきることで、給食もよく食べ、そして礼拝などのお話も格段によく聞くようになりました。その成果が、私たちの目にはすでによく見えています！

園長:久保田愛策

## 年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす  
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節